

県営土地改良事業変更計画書

[農業用排水施設整備事業 永子地区]

愛媛県

土 地 改 良 事 業 計 画 書

	ページ		ページ
第1章 目的	1	第2節 営農計画及び土地利用計画	
第2章 地域及び地積		1 営農計画の概要	8
第1節 地域	1	2 土地利用区分	8
第2節 地積	1	3 作付方式	8
第3章 現況		4 生産計画	9
第1節 気象及び海象		5 労働改善計画	9
1 一般気象	2	6 級地別土地利用区分	(該当なし)
2 特殊気象	2	7 土地配分計画	(該当なし)
3 海象	(該当なし)	第3節 用水計画	
第2節 土地状況		1 計画基準年	10
1 地形、土壌及び侵食の程度	3	2 計画かんがい方式	10
2 土地分類	(該当なし)	3 計画用水系統	10
3 土地利用の状況	3	4 計画用水量	10
4 土地所有の状況	4	5 水源計画	(該当なし)
第3節 水利状況		第4節 排水計画	(該当なし)
1 用水状況	4	1 計画基準雨量	
2 排水状況	(該当なし)	2 計画排水方式	
3 河川現況	(該当なし)	3 計画排水系統	
第4節 道路現況		4 排水量	
1 道路概況		5 排水対策	
2 主要道路一覧表		6 たん水検討	
第5節 地域農業の概況		第5節 道路計画	(該当なし)
1 産業別就業人口	6	1 道路及び索道	
2 経営耕地広狭別経営体数及び耕地の 分散状況並びに専兼業別農家数	6	2 路線配置図	
3 動力農機具及び主要家畜頭数	6	第6節 農用地造成計画	(該当なし)
4 主要作物作付状況	7	1 農用地造成計画	
5 農家の動向	7	2 土壌改良	
第6節 地域環境の概況	7	第7節 洪水調節計画	(該当なし)
第4章 一般計画		1 計画基準雨量	
第1節 事業計画の要旨		2 計画洪水量及び調節量	
1 要旨	8	3 貯水池	
2 事業別面積	8	4 洪水調節検討	
		5 管理計画	

第8節 干拓計画	(該当なし)	第7節 農用地整備施設	(該当なし)
第9節 農用地整備計画	(該当なし)	1 区画整理	
1 区画整理		2 暗渠排水	
2 暗渠排水		3 客土	
3 客土		4 農地保全	
4 農地保全		第8節 老朽ため池改修施設	(該当なし)
第10節 老朽ため池改修計画	(該当なし)	1 貯水池	
1 洪水吐改修計画		2 堤体補強施設	
2 堤体補強計画		第6章 付帯工事計画	(該当なし)
3 取水施設改修計画		第7章 工事の着手及び完了の予定時期	14
第5章 主要工事計画		第8章 環境との調和への配慮	14
第1節 用水施設		第9章 換地計画の概要	(該当なし)
1 頭首工	(該当なし)	第1節 換地計画を作成する上での 基本的な考え方	
2 貯水池	(該当なし)	第2節 換地区の設定	
3 揚水機	(該当なし)	1 換地区の名称, 所在, 面積	
4 用水路	12	2 換地区を設定する理由	
第2節 排水施設	(該当なし)	第3節 換地計画樹立の基本方針	
1 排水水門		1 従前の土地の地積の基準	
2 排水機		2 用途別予定地積	
3 排水路		3 農用地集団化の方針	
4 その他		4 非農用地換地の方法	
第3節 道路及び索道	(該当なし)	第4節 土地の評価及び精算の方法	
1 道路		1 評価の方法	
2 索道		2 精算の方法	
第4節 農用地造成	(該当なし)	第5節 換地計画樹立の年度計画	
1 農用地造成工		第6節 換地処分 of の時期に関する特則	
2 土壌改良		第10章 事業費の総額及び内訳	15
第5節 洪水調節施設	(該当なし)	第11章 効用	16
1 貯水池		第12章 関連する事業	16
2 頭首工及び導水路		第13章 現況・計画図面	16
第6節 干拓施設	(該当なし)		
1 堤防			
2 潮止め			
3 付属施設			
4 埋立			

第1章 目 的

本地区の農業用排水施設は整備後30年以上が経過し、老朽化による施設劣化が著しく、維持管理費の増加や漏水等配水管理の問題に直面している。農業者の高齢化や担い手不足が顕著な情勢を踏まえると、施設の更新整備と併せて施設管理の省力化や効率化を図る必要が生じている。

このため、本事業により、老朽化した開水路をパイプライン化し、農業用水の安定的確保、維持管理や水管理の省力化、漏水等による配水管理ロスの節減を図ることで、農作業の共同化や担い手となる農業者への農地集積を推進させ、安定した競争力ある農業経営の展開を目指すことを目的とする。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
農業用排水施設整備事業	愛媛県上浮穴郡久万高原町直瀬

第2節 地 積

令和8年1月現在 (第2表)

事 業 名	現況地目	田	畑	原野	山林	その他	計	備考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用排水施設整備事業	久万高原町	12.2					12.2	
	計	12.2					12.2	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	久万	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	1991～2020	4月～9月	10月～3月		
平均気温(℃)	19.5	6.2	12.8		
降水量	降水量(mm)	1,343.5	660.4	2,006.5	
	基準年	-	-	-	
降水日数	降水日数	69.0	67.6	135.9	
	基準年	-	-	-	
根 雪 期 間	月 日 ～ 月 日 日間				観測データ無し
無 霜 期 間	月 日 ～ 月 日 日間				観測データ無し
最 多 風 向	かんがい期：北北西 非かんがい期：北北西		最大風速 (風向)	13.9m/s (北北西)	最大風速発生年月日 2018年9月30日

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
久万																
観測期間																
1976年～ 2025年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	281.5	R4.9.18	1/42	265.0	H17.9.6	1/28	265.0	H16.8.30	1/28	243.0	H17.7.3	1/17	240.0	R1.8.15	1/16	
最大時間雨量 (mm)	53.5	H29.9.17	1/56	53.0	R5.7.25	1/50	51.5	R2.8.29	1/35	47.0	H25.9.4	1/13	46.5	R6.8.29	1/12	
最大4時間 雨量 (mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続雨量 (mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続 干天日数 (日)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

3 海 象 (該当なし)

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1000以下	1/1000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
										8°～10°	10°～15°	8°～15°						
農業用排水施設整備事業	面積(ha)					12.2	12.2									688	576	
	比率(%)					100.0	100.0											

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)			備考
	土 壌 断 面								堆積様式	母材	事 業 名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層 及び グライ層			農業用排水施設 整備事業	計		
					表土	下 層 土								
					一層	二層	三層							
清武統	灰色	なし	なし	あり	L	CL	L	なし	水積	非固結水成岩	12.2		12.2	
計											12.2		12.2	

2 土地分類 (該当なし)

3 土地利用の状況

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草放牧地(ha)	原野(ha)	その他(ha)	計(ha)	備考
		水田(ha)	普通畑(ha)	牧草畑(ha)	果樹園(ha)	茶園(ha)	樹園その他(ha)	用材林(ha)	薪炭林(ha)					
農業用排水施設整備事業	久万高原町	12.2											12.2	
計		12.2											12.2	

4 土地所有の状況

令和8年1月現在（第4表－4）

事業名	所有別 区 分	個人所有				計	備考
農業用排水施設整備事業	面 積 (ha)	12.2				12.2	
	関係戸数 (戸)	27				27	
	筆 数 (筆)	142				142	
	権 利 関 係	所有権 賃借権 小作権					
	備 考 (受 益 者 数)						

第3節 水利状況

1 用水状況

(1) 用水系統

別添「現況用水系統模式図」のとおり

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表－1)

事業名	項 目 施設名	か ん が い 面 積						計		水 利 権		慣行水利権		延取水量	備考
		50 h a 以上		10～50 h a		10 h a 以下									
	箇所	h a	箇所	h a	箇所	h a	箇所	h a	箇所	m3／s	箇所	m3／s	m3／s		
農業用排水施設整備事業	貯 水 池														
	井 堰			1	11.9	1	0.3	2	12.2			2	0.088		
	自然取入口														
	揚 水 機														
	そ の 他														
合 計				1	11.9	1	0.3	2	12.2			2	0.088		

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項 目	施設名 又は 箇所数	受益面積 (h a)	構 造	規 模	新設又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
農業用排水施設整備事業	貯 水 池							
	井 堰							
	自然取入口							
	揚 水 機							
	用 水 路	永子	12.2	コンクリート造	0.40×0.30	S57～H5	老朽化、パイプライン化	
	そ の 他							
合 計			12.2					

(3) 用水に関する被害状況 (該当なし)

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況 (該当なし)

2 排水状況 (該当なし)

3 河川現況 (該当なし)

第4節 道路現況

1 道路概況

本地区の道路状況は地区の南側を県道美川川内線が東西方向に縦断し、中央部を町道川瀬井内線が東西方向に縦断している

2 主要道路一覧表

路 線 名	管理区分別	延 長 (km)	幅 員(m)		構 造	改修の要否	備 考
			全幅	有効			
県道美川川内線	愛媛県	44.6	5.0	4.0	アスファルト舗装	否	
町道川瀬井内線	久万高原町	4.2	4.0	4.0	アスファルト舗装	否	

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

市町村名	項目	総数	農　　業	林　　業	漁　　業	鉱　　業	建設業	製造業	電気水道熱供給業	運輸通信業	飲食業 卸売小売業	金融保険業	不動産業	サービス業	公務	その他	備考
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
久万高原町		3,492	704	231	1	7	276	200	23	94	484	22	5	419	255	771	令和2 年国勢 調査
	計	3,492	704	231	1	7	276	200	23	94	484	22	5	419	255	771	
	比率(%)	100.0	20.2	6.6	0.0	0.2	7.9	5.7	0.7	2.7	13.9	0.6	0.1	12.0	7.3	22.1	

2 経営耕地広狭別経営体数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

市町村名	区分	農業経営体数 (経営体)	経営耕地広狭別経営体数(経営体)										一経営体当たり平均農用地面積(ha)						耕地の分散状況		専兼業別農家数(戸)		備考	
			0.3 ha未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0 ha以上	経営 耕地 なし	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸 当団 地数	団地 当面積 (ha)	専業	兼業		
																						第1種		第2種
久万高原町		503	16	142	213	88	14	11	10	1	0	2	6	0.73	0.31	0.26	1.30	-	1.30	-	-			
計		503	16	142	213	88	14	11	10	1	0	2	6	0.73	0.31	0.26	1.30	-	1.30	-	-			
比率(%)		100.0	3.2	28.2	42.3	17.5	2.8	2.2	2.0	0.2	0.0	0.4	1.2	56.2	23.8	20.0	100.0	-	100.0					

2020年農林業センサス

3 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜						備考
									乳用牛		肉用牛		採卵鶏		
									数量 (頭)	戸数 (経営体)	数量 (頭)	戸数 (経営体)	数量 (100羽)	戸数 (経営体)	
久万高原町									-	-	X	7	X	2	2020 年農林業 センサス (農業経営 体)
100戸当数量 (台, 頭)									-		-		-		
利用戸数割合 (%)									-		-		-		

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名			久万高原町						計	平 均	作付率	備考
総耕地面積(ha)			1,160						1,160	—		
区 分 作物名			作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	(%)	
田	表 作	水稻	399	499					399	499	34.4	
	裏 作	大豆	2	120					2	120	0.2	
	小 計		401						401			
畑	夏秋作	夏秋トマト	21	7,048					21	7,048	1.8	
	夏秋作	夏秋ピーマン	13	4,177					13	4,177	1.1	
	小 計		34						34			
樹園地	くり		20	50					20	50	1.7	
	小 計		20						20			
計			455						455			
市町村別 延べ作付率 (%)			39.2									

5 農家の動向

(第7表-5)

項目 区分	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域 指定等	備考
		B	A		B	A		B	A		B	A		B	A		
変化の 状況 (C年を100と する指数)	農業 経営体数	70.8	54.3	耕地	82.7	69.8	水稻	88.7	93.1	乳用牛	—	—	トラクター			農振 過疎 振興山村 特農	A:令和年 (2)
	専業 農家数			田	87.8	75.9	麦類	—	—	肉用牛	—	—	田植機				B:平成年 (27)
	第1種 兼業農家数			畑	72.8	59.4	豆類	66.7	33.3	採卵鶏	—	—	コンバイン				C:平成年 (22)
	第2種 兼業農家数			樹園地	73.1	50.0	野菜類	—	—								
	農業 従事者数	80.5	64.1				果樹類	—	—								
変化の理由	後継者不足・高齢化 に伴う離農により減 少している。			農地の転用により耕 地面積が減少してい る。			耕地面積の減少に伴 い、作付面積も減少 している。										農林業 センサス

第6節 地域環境の概況

自然環境

本地区は、久万高原町の北部に位置し、標高約600m～700mの典型的な中山間地域である。平均気温約13℃と冷涼な気候であり、年間降水量約2,000mmは、愛媛県平均より多く、冬季には四国で最も多く雪をもたらし気候である。

昭和57年から平成5年にかけて水田の区画整理事業に取り組み、大部分が整備された整形の水田となっており、夏季冷涼な気候を活かした農業生産がおこなわれている。

社会環境

久万高原町は、県都松山市から南へ約40kmに位置し、西日本最高峰の石鎚山の麓で1,200m～1,500m級の山々に囲まれ、高知県に流れる仁淀川の上流の渓谷に開けた山岳地帯である。地理的には、四国のへその位置にあり、松山市、高知市への時間距離は約1時間30分となっている。

地形は、渓谷特有の急傾斜地で、中央構造線が東西に横断していることから、地すべり指定地域が多数存在している。また、河川から切り立った斜面には、斜面に張り付くように集落が点在し、集落を結ぶ道路は狭い上、くねった道路が多い。交通は、松山市から高知市へ向かう鉄道路線はなく、国道33号線の山岳道路を定期バスで結んでいる。

生産環境

本地区は、昭和57年から平成5年にかけて県営ほ場整備事業にて区画整理が行われ、高地特有の寒暖差や山から流れ出る清流を利用した稲作中心の農業を営んできた。

しかし、施設整備後30年が経過し、農業用排水施設では老朽化が進行し、維持管理費の増加や漏水等配水管理の問題に直面し、農地では湧水等による湿田化により労働力の過剰投下及び畑利用等転作を進めていく上で大きな支障となっている。農業者の高齢化や担い手不足が顕著な情勢を踏まえると、施設の更新整備と併せて施設管理の省力化や効率化を図る必要が生じている。

このため、農業生産の継続に必要な基盤整備を通じて、農業の競争力を強化することが必要であることから、開水路のパイプライン化と併せて暗渠排水の整備を行うことにより、水利用の効率化・水管理の省力化、収益性の高い作物の生産拡大に向けた整備等を行い、維持管理の負担軽減と生産性の向上を図るとともに、農作業の共同化や担い手への農地集積等の推進が急務となっている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要 旨

老朽化した開水路をパイプライン化し、農業用水の安定的確保、維持管理や水管理の省力化、漏水等による配水管理ロス削減を図る。併せて、暗渠排水の整備により地下水位を低下させ、付加価値が高い低農薬のトマト、ピーマンの生産拡大を実現する。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農業用排水施設整備事業										計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通 畑 (ha)	牧草 地 (ha)	果樹 園 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通 畑 (ha)	牧草 地 (ha)	果樹 園 (ha)	小計 (ha)		
農業用排水施設整備	12.2				12.2						12.2	
計	12.2				12.2						12.2	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

老朽化した開水路を整備することで、安定した用水を確保し生産性の維持向上を図るとともに、水利用の効率化や維持管理労力の削減による労働生産性の向上を図る。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田 (ha)	普通 畑 (ha)	牧草 畑 (ha)	果樹 園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
農業用排水施設整備事業	現 況	12.2						12.2				12.2	
	計 画	12.2						12.2				12.2	
計	現 況	12.2						12.2				12.2	
	計 画	12.2						12.2				12.2	

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営 類型	土地利用 区分	1 年 目												2 年 目												備考
				1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
農業用排水施設整備事業	現況	水稻 トマト	田 田				△	—			×								△	—		×						
							○	—	△	—	×	×	×	×	×				○	—	△	—	×	×	×	×	×	
	計画	水稻 トマト ピーマン	田 田 田				△	—			×								△	—		×						
							○	—	△	—	×	×	×	×	×				○	—	△	—	×	×	×	×	×	
							○	△	×	×	×	×	×	×					○	△	×	×	×	×	×	×		

凡例：○：播種 △：移植 ×：収穫

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地 利用区分		作物名	作付面積			作付率		単位面積当たり 収量			生産量			同左生産量 増減の内訳		備考
				(ha)			(%)		(kg/10a)			(t)			(t)		
	現況	計画		増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増減	単位面 積当 たり 収量 増加			
農業用排水施設整備事業	水田	表作	水稻	10.1	9.8	△ 0.3	95.3	92.4	506	516	10	51.1	50.6	△ 0.5	△ 0.3	0.010	
			トマト	0.5	0.6	0.1	4.7	5.7	7,039	8,095	1,056	35.2	48.6	13.4	0.1	1.056	
			ピーマン	0.0	0.2	0.2	0.0	1.9	4,022	4,625	603	0.0	9.3	9.3	0.2	0.603	
		裏作															
			計		10.6	10.6	0.0									0.0	
	普通畑																
		計	0.0	0.0	0.0										0.0		
	樹園地	計															
	合 計				10.6	10.6	0.0									0.0	

5 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当り労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
農業用排水施設整備事業	水田	水稻	9.8	人力	186	177	△ 9	
				機械	71	71	0	
		トマト	0.6	人力	10,285	10,075	△ 210	
				機械	820	820	0	
		ピーマン	0.2	人力	8,080	8,015	△ 65	
				機械	820	820	0	
				人力				
				機械				
	合計		10.6					

6 級地別土地利用区分 (該当なし)

7 土地配分計画 (該当なし)

第3節 用水計画

1 計画基準年

なし

2 計画かんがい方式

農業用排水

水 田

水 稲・・・・・・・・たん水かんがい

かんがい期間

4月中旬～8月下旬

(代かき期間

4月中旬～4月下旬 7日間)

畑作物・・・・・・・・うね間かんがい

かんがい期間

通 年

3 計画用水系統

別添「計画用水系統模式図」のとおり

4 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

系統名	項目 種別	面積(ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 m3/s	損失量 %	粗用水量 m3/s		備考
		事業名		普通期	代かき期	面積 (ha)	1日当たり計画 平均かん水深 (mm/日)	平均 間断日数 (日)	面積 (ha)	1日当たり計画 平均かん水深 (mm/日)	平均 間断日数 (日)	面積 (ha)	計画 平均単位 用水量 (mm/日)	面積 (ha)			平均 m3/s	最大 m3/s	
		農業用排水施設 整備事業	計	計画平均単位 用水量 (mm/日)	計画代かき単位用 水量 (mm)														
永子	農業用水	12.2	12.2	21.2	130	11.3	0.3	8	0.9	-	-	-	-	-	0.0477	10	-	0.0530	

(2) 営農飲雑用水 (該当なし)

5 水源計画 (該当なし)

(1) 水利用計画

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(イ) 井堰及び自然取入口

(ウ) 揚水機

(エ) 用水路

(オ) その他の水源施設

(3) 水温水質

第4節 排水計画 (該当なし)

- 1 計画基準雨量
- 2 計画排水方式
- 3 計画排水系統
- 4 排水量
- 5 排水対策
- 6 たん水検討

第5節 道路計画 (該当なし)

- 1 道路及び索道
- 2 路線配置図

第6節 農用地造成計画 (該当なし)

- 1 農用地造成計画
- 2 土壌改良

第7節 洪水調節計画 (該当なし)

- 1 計画基準雨量
- 2 計画洪水量及び調節量
- 3 貯水池
- 4 洪水調節検討
- 5 管理計画

第8節 干拓計画 (該当なし)

第9節 農用地整備計画 (該当なし)

- 1 区画整理
- 2 暗渠排水
- 3 客 土
- 4 農地保全

第10節 老朽ため池改修計画 (該当なし)

1 洪水吐改修計画

2 堤体補強計画

3 取水施設改修計画

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1 頭首工 (該当なし)

2 貯水池 (該当なし)

3 揚水機 (該当なし)

4 用水路

(第17表-4)

水路名	項目	通水量 (m3/s)	延長(km)			構造	勾配 (%)	主要 構造物	備考
	かんがい面積(ha)		開き よ	トンネル その他	計				
	事業名 農業用排水施設整備事業								
1号管路	12. 20	0. 05286		1. 199	1. 199	硬質塩化ビニルφ75～200			
1' 号管路	5. 23	0. 03254		0. 652	0. 652	硬質塩化ビニルφ75～150			
1'-1号管路	0. 27	0. 00500		0. 170	0. 170	硬質塩化ビニルφ75			
1'-2号管路	0. 05	0. 00500		0. 032	0. 032	硬質塩化ビニルφ75			
1'-3号管路	0. 29	0. 00500		0. 102	0. 102	硬質塩化ビニルφ75			
2号管路	0. 68	0. 01137		0. 380	0. 380	硬質塩化ビニルφ75, 100			
2-1号管路	0. 08	0. 00500		0. 017	0. 017	硬質塩化ビニルφ75			
2-2号管路	0. 15	0. 00500		0. 023	0. 023	硬質塩化ビニルφ75			
3号管路	0. 09	0. 00500		0. 031	0. 031	硬質塩化ビニルφ75			
4号管路	2. 06	0. 02539		0. 718	0. 718	硬質塩化ビニルφ75～200			
4-1号管路	0. 07	0. 00500		0. 012	0. 012	硬質塩化ビニルφ75			
4-2号管路	0. 28	0. 00500		0. 023	0. 023	硬質塩化ビニルφ75			
5号管路	1. 25	0. 02090		0. 256	0. 256	硬質塩化ビニルφ75～125			
5-1号管路	0. 07	0. 00500		0. 014	0. 014	硬質塩化ビニルφ75			
5-2号管路	0. 04	0. 00500		0. 023	0. 023	硬質塩化ビニルφ75			
6号管路	1. 76	0. 02462		0. 621	0. 621	硬質塩化ビニルφ75, 100			
6-1号管路	1. 06	0. 01772		0. 355	0. 355	硬質塩化ビニルφ75～150			
6-1-2号管路	0. 52	0. 00869		0. 265	0. 265	硬質塩化ビニルφ75, 100			
6-1-2-1号管路	0. 02	0. 00500		0. 005	0. 005	硬質塩化ビニルφ75			
6-1-2-2号管路	0. 05	0. 00500		0. 006	0. 006	硬質塩化ビニルφ75			
6-1-3号管路	0. 02	0. 00500		0. 022	0. 022	硬質塩化ビニルφ75			
6-1-4号管路	0. 05	0. 00500		0. 033	0. 033	硬質塩化ビニルφ75			
6-1-5号管路	0. 04	0. 00500		0. 013	0. 013	硬質塩化ビニルφ75			
6-2号管路	0. 21	0. 00500		0. 054	0. 054	硬質塩化ビニルφ75			
7号管路	0. 02	0. 00500		0. 033	0. 033	硬質塩化ビニルφ75			
8号管路	1. 07	0. 01789		0. 124	0. 124	硬質塩化ビニルφ75～125			
9号管路	0. 17	0. 00500		0. 011	0. 011	硬質塩化ビニルφ75			
10号管路	0. 10	0. 00500		0. 083	0. 083	硬質塩化ビニルφ75			
合計			0. 000	5. 277	5. 277				

第2節 排水施設 (該当なし)

1 排水水門

2 排水機

3 排水路

4 その他

第3節 道路及び索道 (該当なし)

1 道 路

2 索 道

第4節 農用地造成 (該当なし)

1 農用地造成工

2 土壌改良

第5節 洪水調節施設 (該当なし)

1 貯水池

2 頭首工及び導水路

第6節 干拓施設 (該当なし)

1 堤 防

2 潮止め

3 付属施設

4 埋 立

第7節 農用地整備施設 (該当なし)

1 区画整理

2 暗渠排水

3 客 土

4 農地保全

第8節 老朽ため池改修施設 (該当なし)

1 貯水池

2 堤体補強施設

第6章 附帯工事計画 (該当なし)

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

令和4年度～令和9年度

第8章 環境との調和への配慮

本地区内は環境配慮区域に位置付けられていることから、地域住民・有識者の意見を踏まえ、工事中の水質汚濁の防止に努め、土砂流出や水質汚濁が生じないように、仮設等に十分配慮し、周辺環境への影響の軽減を図る。

第9章 換地計画の概要 (該当なし)

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

第2節 換地区の設定

- 1 換地区の名称、所在、面積
- 2 換地区を設定する理由

第3節 換地計画樹立の基本方針

- 1 従前の土地の地積の基準
- 2 用途別予定地積
- 3 農用地集団化の方針
- 4 非農用地換地の方法

第4節 土地の評価及び精算の方法

- 1 評価の方法
- 2 精算の方法

第5節 換地計画樹立の年度計画

第6節 換地処分 of 時期に関する特則

第10章 事業費の総額及び内訳

1 当該事業にかかる費用

(第26-1表)

工 種	事 業 量	事 業 費 (千円)	備 考
純工事費		281,040	
農業用排水施設	L=5.3km	281,040	
測量試験費	一式	47,000	
用地買収補償費	一式	1,000	
換地費			
工事雑費	一式		
事業費 (計)		329,040	
地方事務費	一式	16,452	
合 計		345,492	

2 総費用

(第26-2表)

区分	工 種	事業着工 時点の 資産価額	当該事業費	関連事業費	評価期間に おける 再整備費	評価期間 終了時点の 資産価額	総費用
当該事業	配水管類	0	285,188		79,874	36,005	329,057
	水槽工	0	34,640		6,735	6,739	34,636
関連施設	関連水路 (現場打ちコンクリート水路)	2,177		0	4,713	186	6,704
合 計		2,177	319,828		91,322	42,930	370,397

第 1 1 章 効用

1 年効果額及び年増加所得額

(第 2 7 表)

区 分 効果項目		全体の効果額		効果発生面積 (ha)	備 考
		年総効果(便益)額	現況年総農業所得額 (年総増加所得額)		
食料の安定供給確保に関する効果		21,475	16,014		
	作物生産効果	10,967	4,897	10.6	
	品質向上効果				
	営農経費節減効果	10,602	11,122	10.6	
	維持管理節減効果	△ 94	△ 5	12.2	
	営農に係る走行経費節減効果				
農業の持続的発展に関する効果		0	0		
	耕作放棄防止効果				
	災害防止効果（農業）				
	農業労働環境改善効果				
農村の振興に関する効果		0	0		
	災害防止効果（一般資産）				
	地域用水効果				
	一般交通等経費節減効果				
多面的機能の発揮に関する効果		0	0		
	災害防止効果（公共資産）				
	水源かん養効果				
	景観・環境保全効果				
その他の効果		1,785			
	国産農産物安定供給効果	1,785		10.6	
計		23,260	16,014		(評価期間 46年)

2 総便益額 < 4 7 8, 1 8 5 千円 >

第 1 2 章 関連する事業

(第 2 8 表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容
永子地区	暗渠排水事業	愛媛県	4.0	暗渠排水施設整備 A=4.0ha

第 1 3 章 現況・計画図面

1 現況平面図

別添「計画概要図」のとおり

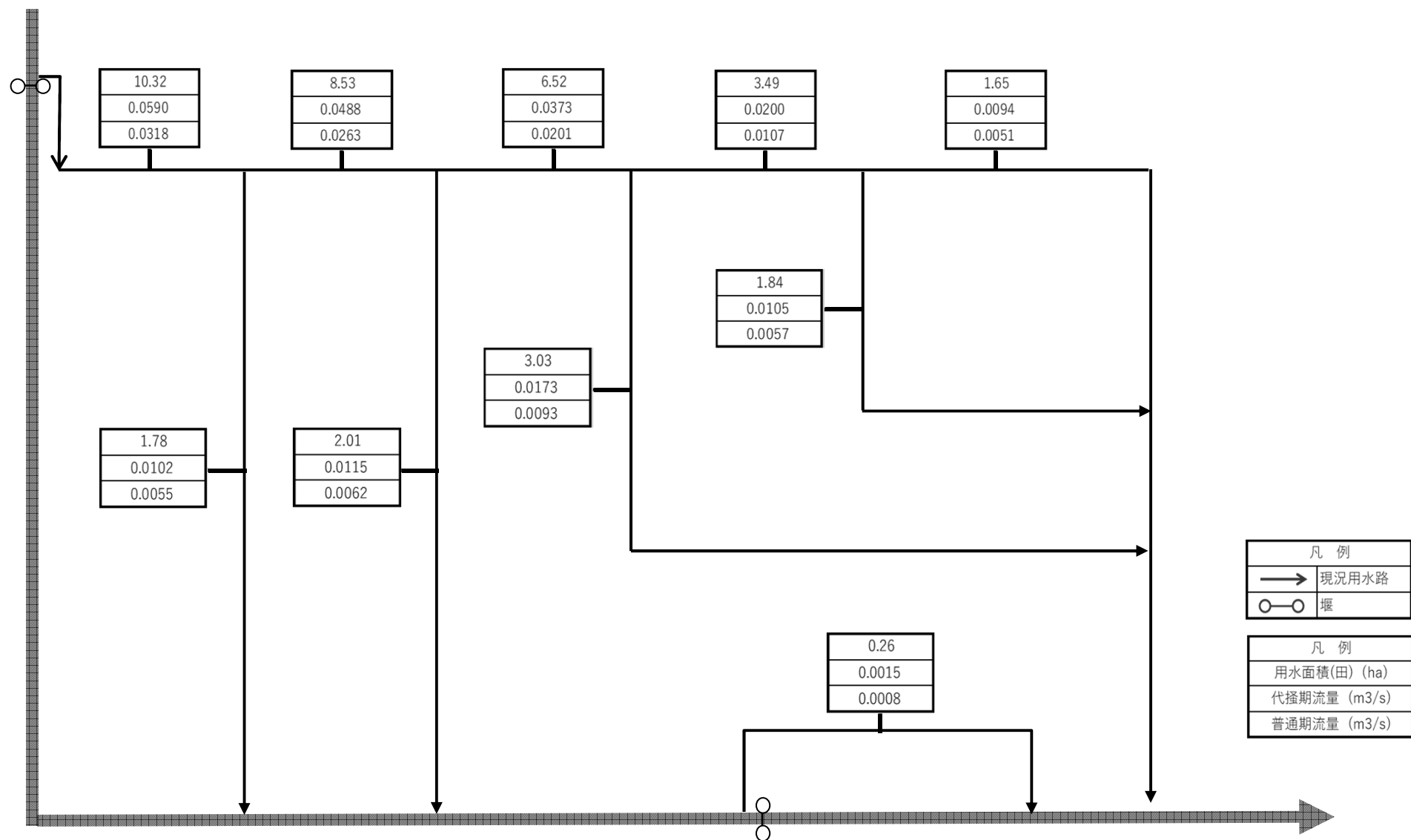
2 計画平面図及び土地利用計画図

別添「計画概要図」及び「土地利用図」のとおり

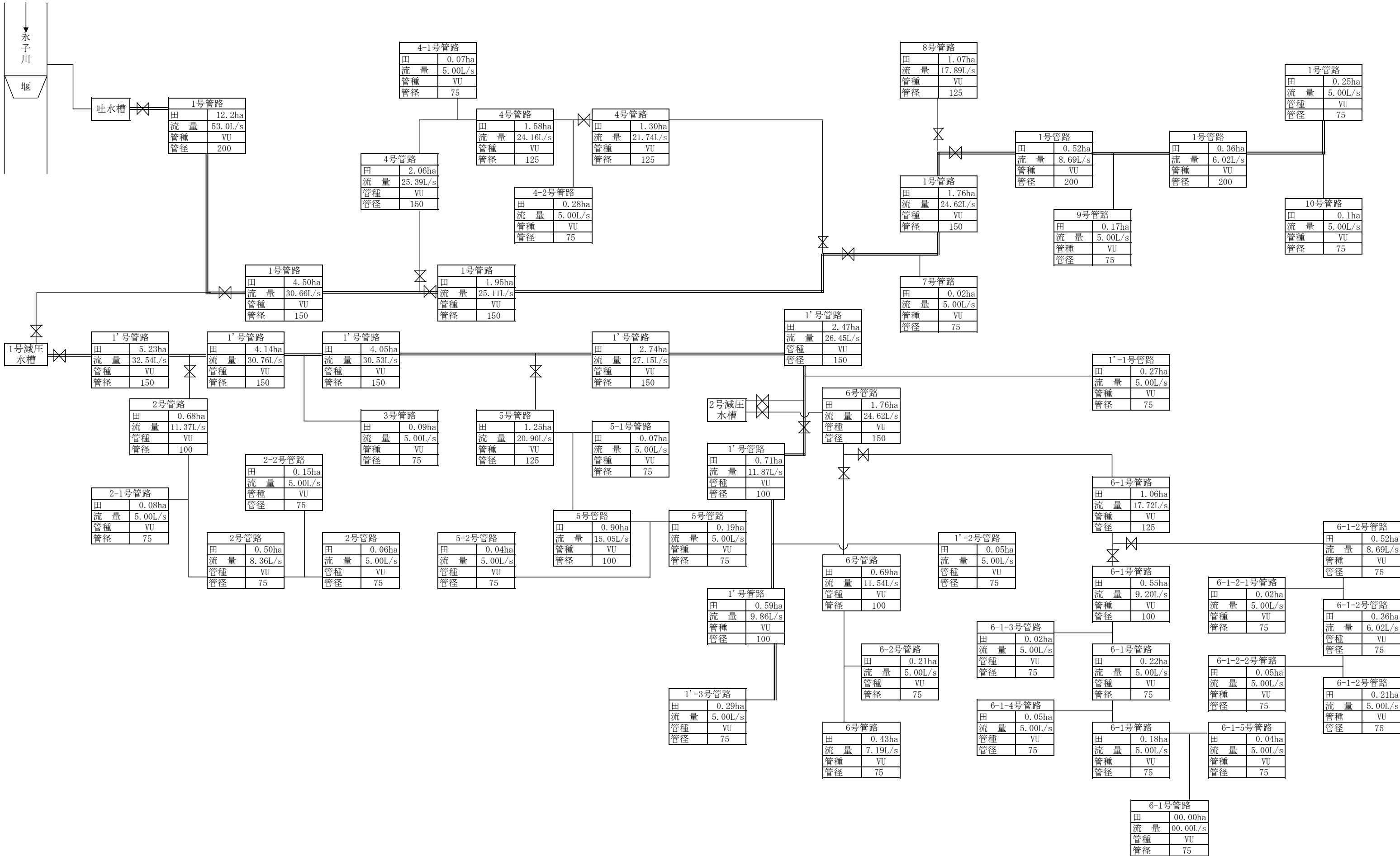
3 主要構造図

別添「標準断面図」のとおり

現況用水系統模式圖



計画用水系統模式図

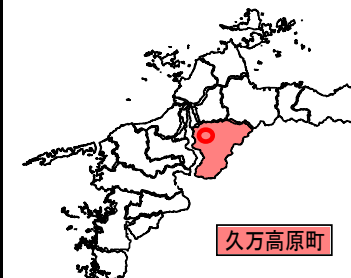


県営土地改良事業（農業用排水施設整備事業・永子地区） 計画概要図

所在地 愛媛県 久万高原町 直瀬

S=1:25,000

県内位置図



久万高原町

永子地区

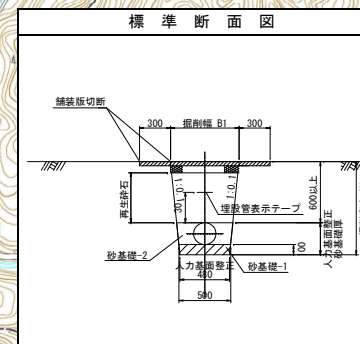
凡 例	
県道	
町道	
受益	

事業概要

受益面積 12.2ha

主要工事 農業用排水施設
パイプラインL=5,280m

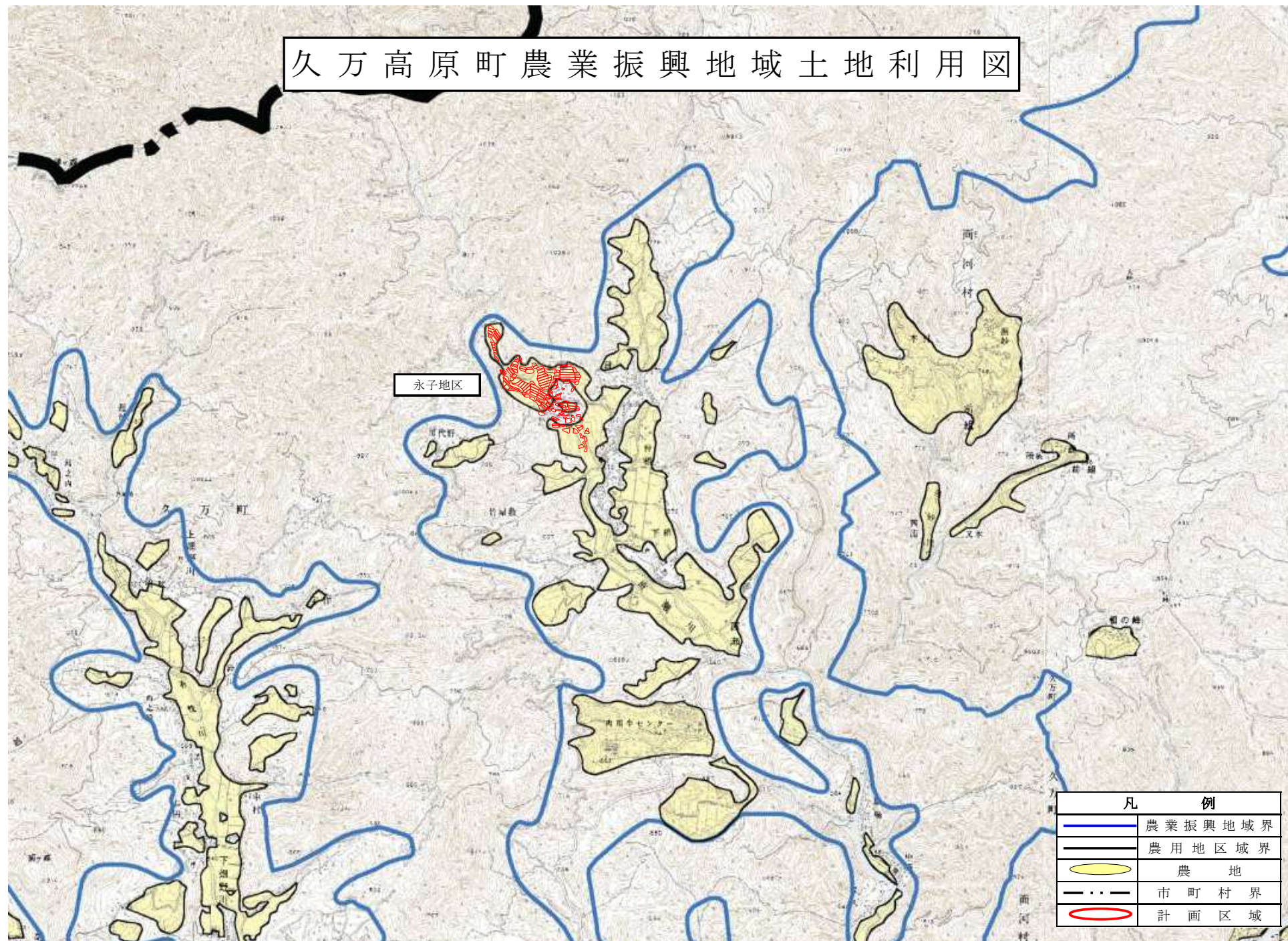
事業量	事業費
1式	329,040千円
関連事業	-
事業主体	愛媛県



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号 平21業使 第185-25476号)」

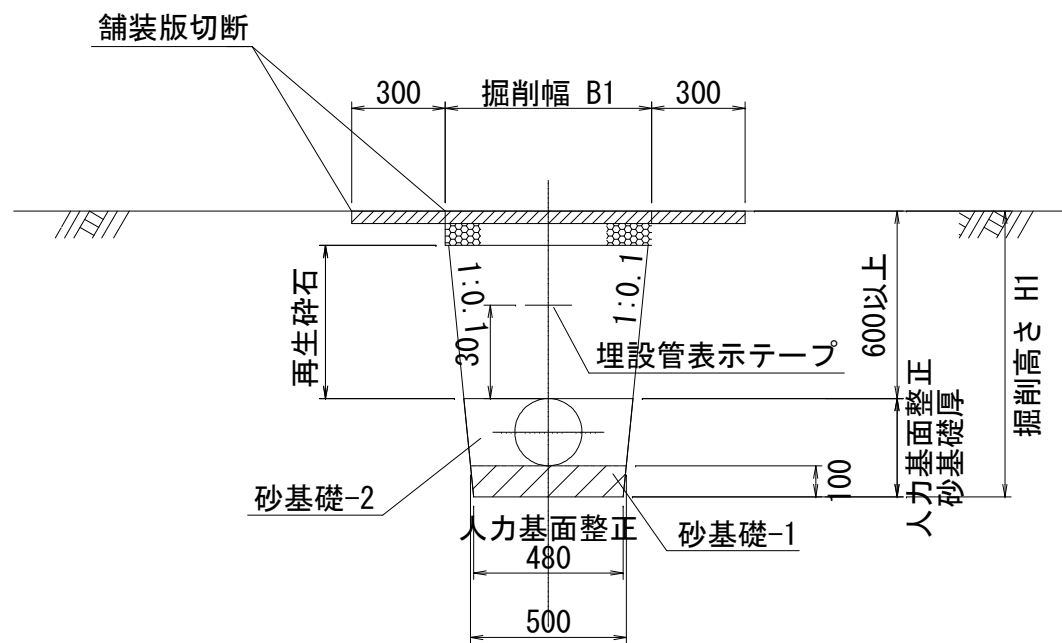
500 0 500 1000 1500m

久万高原町農業振興地域土地利用図

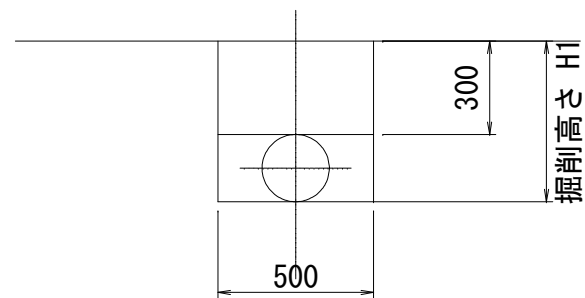


配水管 標準断面図

県道・町道・農道部

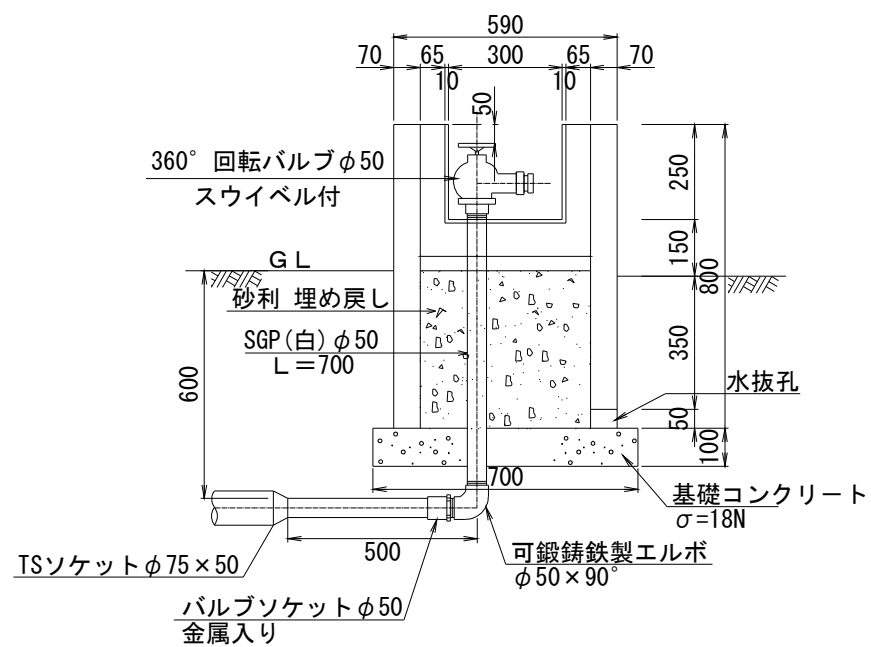


小道・畦畔道・未舗装部

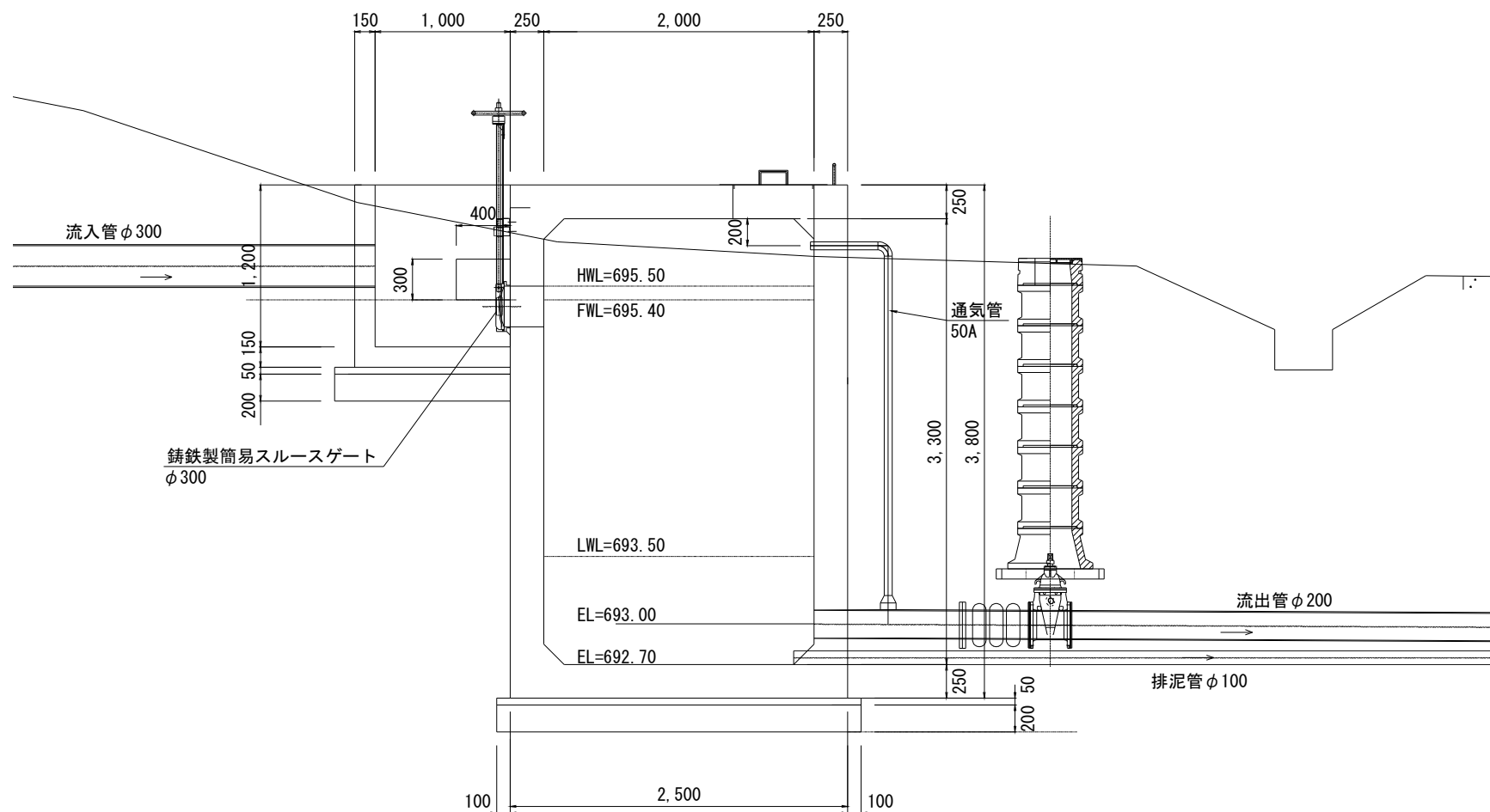


Technical drawing of a square box with dimensions and a central circular feature. The drawing includes the following dimensions:

- Overall width: 700
- Overall height: 700
- Inner width: 590
- Inner height: 590
- Top flange width: 70
- Bottom flange width: 70
- Left flange width: 70
- Right flange width: 70
- Top flange thickness: 75
- Bottom flange thickness: 75
- Left flange thickness: 75
- Right flange thickness: 75
- Central circular feature diameter: 25
- Central circular feature height: 25
- Central circular feature width: 25
- Central circular feature depth: 25
- Central circular feature radius: 10
- Central circular feature offset: 10
- Central circular feature position: 150, 300

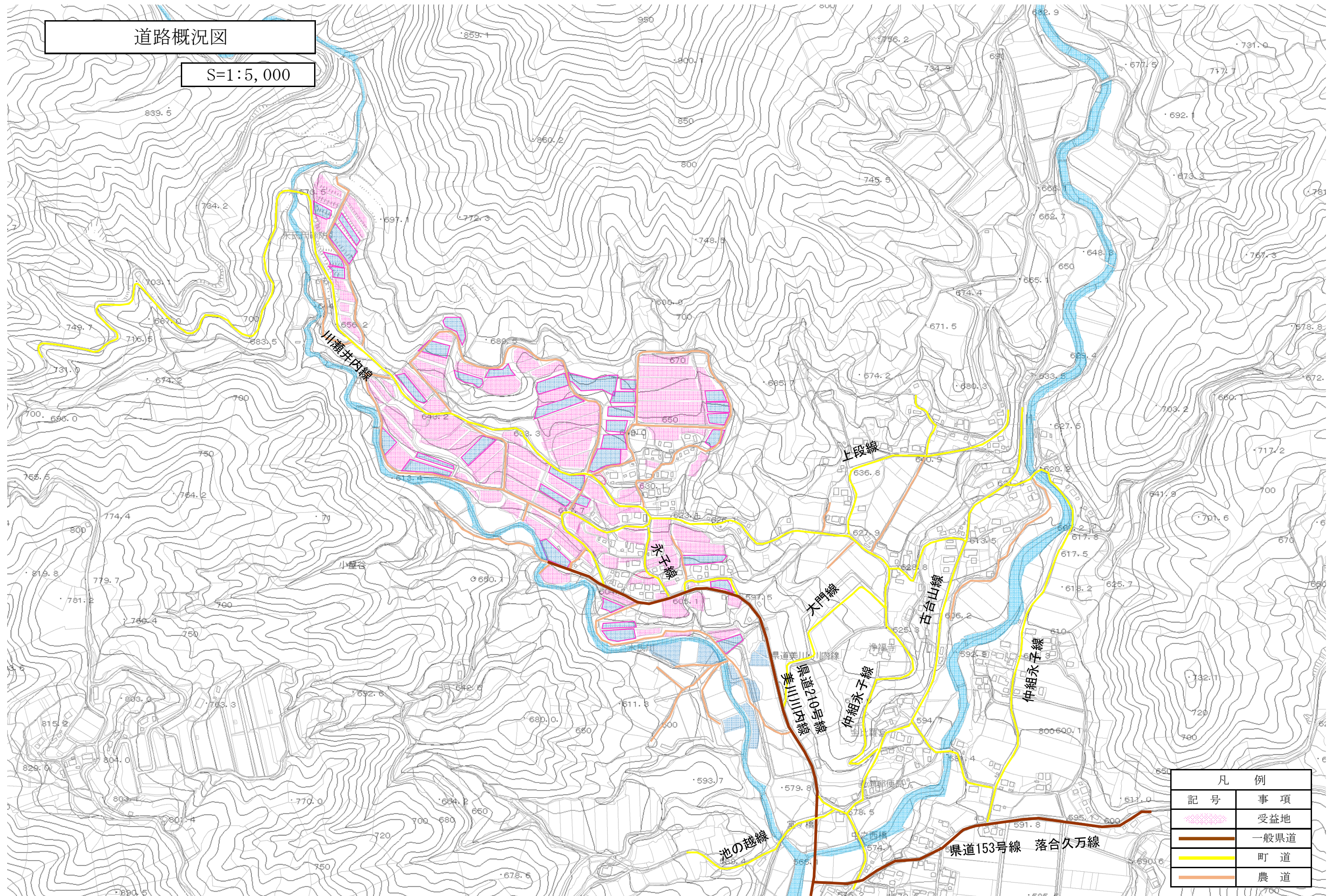


水槽施設 標準断面図



道路概況図

S=1:5,000



凡 例	
記 号	事 項
	受益地
	一般県道
	町 道
	農 道